



被爆80周年

Piece of Peace
平和のかけら

広島交響楽団

第453回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 453rd Subscription Concert

〈芥川也寸志 生誕100周年・誕生日〉

芥川也寸志

オーケストラのためのラプソディ

Yasushi Akutagawa : Rapsodia per Orchestra

チェロとオーケストラのための

「コンチェルト・オスティナート」

Yasushi Akutagawa : Concerto Ostinato, for Violoncello and Orchestra

交響曲第1番

Yasushi Akutagawa : Prima Sinfonia (Symphony No.1)

コンサートマスター:蔵川瑠美

Concertmaster:Rumi Kurakawa

芥川也寸志に捧げる

小説家・芥川龍之介の三男として1925年(大正14年)7月12日に生まれた。幼少から他界した父の遺品のSPレコードを聴いて育ち、ストラヴィンスキイが大好きで幼稚園に通う頃には「火の鳥」のメロディを口ずさんでいた。戦時には学徒動員で徴兵されるも軍楽隊に配属、卒業後も作曲係上等兵として勤務し、軍楽隊の作・編曲を行なっていた。終戦後は本格的に音楽の世界に身を投じ、63歳の若さでその生涯を閉じるまで数々の名作を生み出した。生きていれば100歳の誕生日となる記念日に、高関健の指揮で「オール芥川プログラム」を捧げる。

2025.7.12(土) 15:00開演
 Saturday July 12, 2025 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込／全席指定)

S席5,800円・A席5,200円・B席4,500円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日 / 2025年5月12日(月)

プレイガイド/ローソンチケット(Lコード:63281)、チケットぴあ(Pコード:289-292)、広響事務局

主催／公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社



助成／

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

|独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

プレミアム協賛／



後援／広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、
 テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、
 クリエイティブCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広響事務局 TEL:082-532-3080 http://hirokyo.or.jp 広響公式HP



第453回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 453rd Subscription Concert

Piece of Peace
被爆80周年
平和のから

指揮 高関健

Conductor:Ken Takaseki

国内はもちろんのこと、世界に名だたる名門オーケストラから豊潤な響きを引き出し聴衆や楽員から大絶賛を受けたサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会など海外への客演も多く、イツァーク・パールマン、ミッシャ・マイスキー、ギドン・クレーメル、ミハイル・プレトニヨフ、ピエール・ブーレーズ等の世界的ソリストや作曲家、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る、緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作りだす名匠。

オペラでも新国立劇場やウラジオストクとサンクトペテルブルグでの團伊玖磨「夕鶴」、大阪カレッジオペラでのブリテン「ピーター・グライムズ」をはじめ、2021年には新国立劇場でストラヴィン斯基「夜鳴きうぐいす」とチャイコフスキ「オランダ」を指揮、作品の魅力を存分に伝えて高い評価を得ている。

国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者(2015年4月～)、富士山静岡交響楽団首席指揮者(2021年4月～)、仙台フィル常任指揮者(2023年4月～)を務める。

1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン、1984年ハンス・スワロフスキ国際指揮者コンクール優勝。第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリーミュージック賞を受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。東京藝術大学名誉教授。

X(旧twitter) @KenTakaseki



©K.Miura



©TOMOKO HIDAKI

チェロ 佐藤晴真

Violoncello:Haruma Sato

その世代で最も注目を集める気鋭のチェロ奏者。

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルツワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、など、多数の受賞歴を誇る。

19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を行う。以降、バイエルン放送交響楽団をはじめ、国内外の主要オーケストラと共に演奏を重ねており、リサイタルや室内楽にも積極的に取り組んでいる。20年には、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses~ブラームス作品集~』をリリースし、第13回CDショップ大賞2021クラシック賞を受賞。21年には、『SOUVENIR~ドビュッシー＆フランク作品集』、23年に『歌の翼に～メンデルスゾーン作品集』をドイツ・グラモフォンよりリリースした。また、NHKテレビやNHK-FMにもたびたび出演するなど、多方面での活躍が期待されている。

これまでに、林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイエンス＝ペーター・マインツ氏に師事している。

第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞を受賞。21年度文化庁長官表彰。22年、第32回日本製鉄音楽賞を受賞。江副記念リクルート財団第52回奨学生。

使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。現在、ベルリンと東京を拠点に活動している。

次回予告 第454回定期演奏会

2025.9.20(土) 15:00開演 [14:00開場] 広島文化学園HBGホール

リヒャルト・シュトラウス:ホルン協奏曲第2番変ホ長調

シベリウス(生誕160年):4つの伝説曲作品22(レンミニカイネン組曲)



©Martin Richardson

指揮
尾高忠明



©Simon Pauly

ホルン
シュテファン・ドール

あなただけの
マイシート 2025年度
中期定期会員募集のご案内

9月~11月の定期
全3回

5席 14,000円 A席 12,500円 B席 10,800円
お申し込みは広報事務局までお電話ください。(受付期間2025年4月14日～2025年9月19日)